



多様な人財の育成と
活躍推進

ダイバーシティ&インクルージョンの推進、
〈主要課題〉人財の確保・育成、安全と健康の最優先、
イノベーションの推進



多様な人財が活躍し、
イノベーションを生み続ける組織を構築します

[KYUDEN i-PROJECT]の参加メンバー

イノベーションの推進

九電グループ全体のイノベーションを推進し、新たな事業・サービスを生み出すためのプロジェクト「KYUDEN i-PROJECT」を立ち上げ、グループ横断のアイデア創出や、有望案件の事業化・サービス化に向けた検討を行っています。

■事業化案件



PDLOCK (パドルック)
全国の特別高圧・高圧受電の事業者を対象とした、部分放電オンライン遠隔診断サービス



PRIEV (プライブ)
集合住宅の居住者を対象とした、電気自動車のプライベート充電サービス



みらいサーモン
福岡県豊前市の豊前発電所の敷地を活用したサーモン陸上養殖事業



産業用機械向けリチウムイオン蓄電池パック
電気自動車用リチウムイオン電池を用いた産業用機械向け電池パックの製造・販売



おけいこタウン
「教えたい人」と「習いたい人」をつなげる習い事マッチングサービス



weev (ウィーブ)
マンション入居者専用EVカーシェアサービス



Qottaby (キューオッタバイ)
位置情報を活用した見守りサービス



九電ドローンサービス
ドローンを利用した空撮や点検、測量、映像編集などを提供するサービス



Kyuden Innovatech Vietnam
ベトナムに設立した現地法人「Kyuden Innovatech Vietnam」による水力発電運用改善事業

安全と健康の最優先

九電グループは、「九電グループ安全行動憲章」に基づき、安全を最優先する風土・文化の醸成に努めています。具体的には、重大災害に的を絞った安全活動や事故・災害防止策の共有、委託・請負会社との安全懇談会等を実施しています。

また、九州電力(株)と九州電力送配電(株)では、あらゆる事業運営の基盤である従業員の健康保持・増進を目的に健康経営を推進しており、5年連続で「健康経営優良法人」の認定を受けました。



2022
健康経営優良法人
Health and productivity

ダイバーシティ&インクルージョン^(※)の推進

九州電力^(株)及び九州電力送配電^(株)では、高度・専門人材、他企業経験者の採用等による人材の確保や多様な人材が活躍できる各種制度(副業兼業等)を展開することで、事業の変革推進や新たなビジネスの創出に取り組んでいます。併せて、年齢・性別・役職に関わらず多様な意見や価値観を認め、受け入れ、成果につなげていく職場風土づくりを進めています。

また、テレワークの推進をはじめとする、時間や場所にとらわれない勤務制度や実施環境(サテライトオフィス等)の整備など、生産性の高い、柔軟な働き方に向けた取り組みも実施しています。

(※)人財の多様性(ダイバーシティ)を、お互いに包摂(インクルージョン)することで、一人ひとりが能力を最大限に発揮し、企業価値の向上につなげる



男性社員の育児参画座談会

■多様な人材の活躍に向けた取り組み

多様な経験等を有する人材の受入・活用	<ul style="list-style-type: none"> ・中途採用(高度・専門人材の採用、他企業経験者採用) ・副業・兼業制度(社外での副業や社内兼業、社外人材の活用) ・ジョブリターン(転職をした元社員の再雇用)、カムバック採用(育児・介護等での退職者の再雇用)
年齢・性別等に関わらない活躍支援	<ul style="list-style-type: none"> ・仕事と家庭の両立に向けたセミナーの開催 ・女性のキャリア形成を支援する個別相談・情報提供 ・「キャリア社員制度」による定年後の継続雇用での就労環境整備 ・障がい者法定雇用率を上回る雇用率2.39%(2022年3月時点)

厚生労働大臣が、女性活躍推進に関する取り組みの実施状況等が優良な企業を認定する「えるぼし認定」を取得しています。



「えるぼし」認定マーク

厚生労働大臣が次世代育成支援対策推進法に基づき、一定の基準を満たした企業を認定する「くるみん認定」を取得しています。



「くるみん」認定マーク



ガバナンスの強化

コンプライアンスの徹底、
(主要課題) サプライチェーンマネジメントの強化、
情報セキュリティの確保



成長を支えるガバナンスを確立します

コンプライアンス経営の徹底

九州電力^(株)は、「社会の皆さまからの信頼なくして当社グループの存続はない」という認識の下、一人ひとりが誠実で公正な事業運営を行うため、「コンプライアンス経営」を推進しています。

「コンプライアンス経営」の徹底に向け、社外有識者等で構成するコンプライアンス委員会の下、業務執行機関の長を「コンプライアンス責任者」として活動計画を策定・実践するとともに、社内外に相談窓口を設置するなど、推進体制を整備しています。

サプライチェーンマネジメントの強化

九州電力^(株)は、サプライチェーンにおいて法令・社会規範遵守や環境配慮に取り組むことを明記した「資材調達基本方針」及び「燃料調達基本方針」を制定しています。また、お取引先への説明会やアンケート等の機会を通じて、サステナビリティ向上の取り組みに対する協力依頼を行うなど、サプライチェーンマネジメントの強化に取り組んでいます。

情報セキュリティの確保

九州電力^(株)は、社長を最高責任者、情報通信本部長を情報セキュリティ総括責任者(CISO)とする推進体制の下、九電グループ全体の情報セキュリティ確保に取り組んでいます。

具体的には、サイバーセキュリティ対策室を中核としてグループ全体のセキュリティマネジメントサイクルを推進するとともに、全社員のセキュリティ教育・訓練の実施や、ウイルス対策ソフト導入等の対策を行っています。

